

mkdir コマンド

- ・読み方：メイクディレクトリ
- ・意味：make directory の略
- ・用途：新しくディレクトリ（フォルダ）を作成するためのコマンド

利用環境

LinuxやmacOSのターミナル、WSL、Git Bashなど

基本操作

1. ディレクトリを作成

`mkdir`

- ・確認コマンド：ディレクトリができたか確認（詳細付き）（ls コマンド）

```
ls -l
```

- ・実行結果の例：dで始まっているのでディレクトリ

```
drwxr-xr-x  2 user user 4096  9  8 12:00
```

2. 複数ディレクトリを同時に作成

`mkdir` a b c

- ・確認コマンド：ディレクトリができたか確認（詳細付き）（ls コマンド）

```
ls -l
```

- ・実行結果の例

```
drwxr-xr-x  2 user user 4096  9  8 12:01      a
drwxr-xr-x  2 user user 4096  9  8 12:01      b
drwxr-xr-x  2 user user 4096  9  8 12:01      c
```

よく使うオプション

1. -p（parents）：親ディレクトリもまとめて作成する

- ・指定した階層の中で存在しないディレクトリがあれば、自動的に順番に作成する
- ・すでに存在する場合もエラーにならない

今いる場所に3階層のディレクトリを作成

```
a
b
c
```

`mkdir -p` a/ b/ c

- ・確認コマンド：階層ごとに再帰的に確認（ls コマンド）

```
ls -R     a
```

- ・実行結果の例

```
a:
b

a/  b:
c

a/  b/  c:
```

2. -m (mode) : ディレクトリ作成時に パーミッション (アクセス権限) を指定する

- 通常は umask コマンド に従ってパーミッションが決まるが、-m を指定すると上書きできる
- chmod コマンド を後で実行する代わりに、一発で設定可能

新しいディレクトリに、755 (所有者は全部OK、他人は閲覧と実行のみ) の権限を付与する

```
mkdir -m 755
```

- 確認コマンド : そのディレクトリのパーミッション確認 (ls コマンド)

```
ls -ld
```

- 実行結果の例

```
drwxr-xr-x  2 user user 4096  9  8 12:05
```

その他オプション

1. -v (verbose) : 作成処理を標準出力に表示する

- 「このディレクトリを作成しました」というログが表示される
- スクリプト実行時に進捗を確認するのに便利

```
mkdir -v
```

- 実行結果の例

```
mkdir:      ' '
```

2. --help : mkdirコマンドのヘルプを表示

- どのオプションが使えるか確認できる

```
mkdir --help
```

以上